

物流の現状と今後

会社概要

会社名：日本通運株式会社

本社：〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3

設立：1937（昭和12）年10月1日

資本金：701億75百万円

売上高：2兆803億52百万円（2020年3月期）

営業利益：592億24百万円（2020年3月期）

事業内容：貨物自動車運送事業 利用航空運送事業
 船舶利用運送事業 内航海運業
 鉄道利用運送事業 倉庫業 警備業
 重量物の運搬、架設、設置およびこれに付随する事業
 建設業 旅行業 通関業他

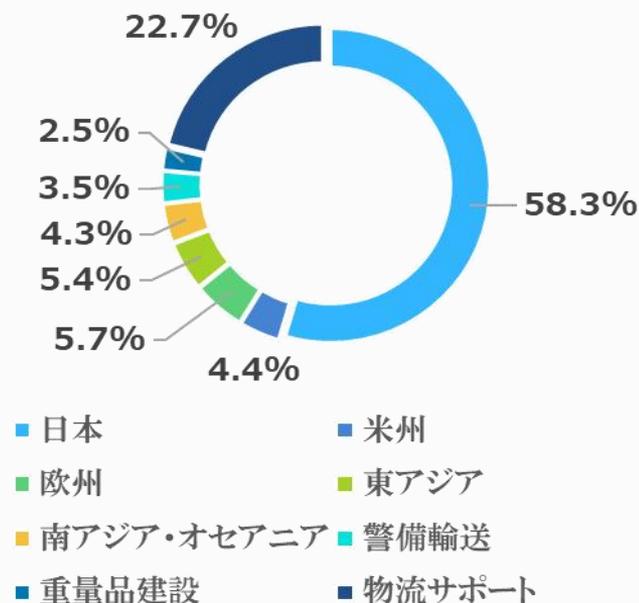
従業員数：73,549名（連結）

子会社：292社

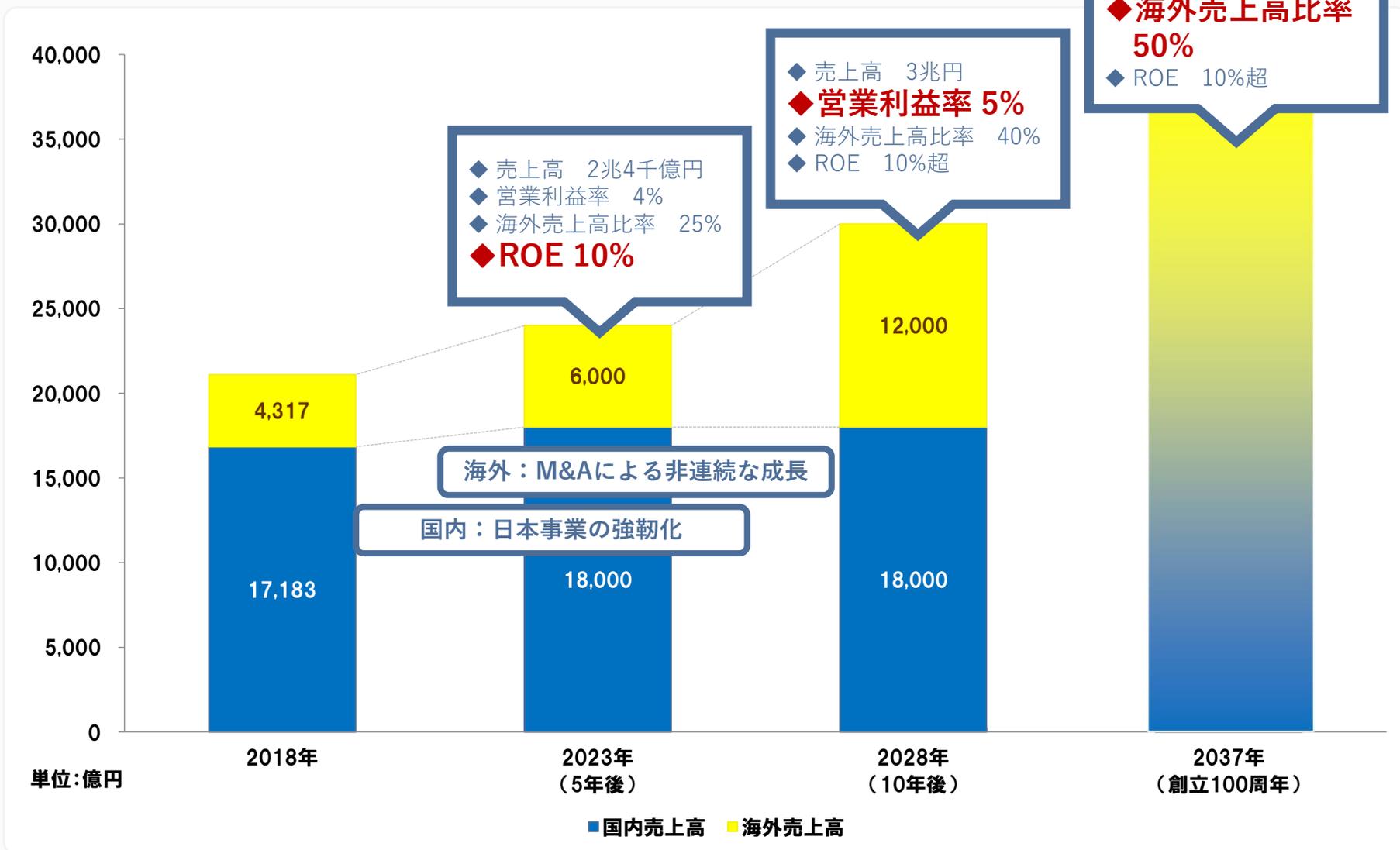
関連会社：68社

海外ネットワーク：48カ国 321都市 744拠点

連結売上高



長期ビジョン 成長イメージ



日本事業の強靱化戦略

社会的課題

■人手不足、環境問題、安全・品質管理
⇒重要度が飛躍的に高まっている

問題解決の
鍵

企業の枠を超えた全体最適の追求、トータルソリューション

持続的成長

日本事業の強靱化 ⇒ 海外事業の飛躍的成長

当社の事例



医薬品事業



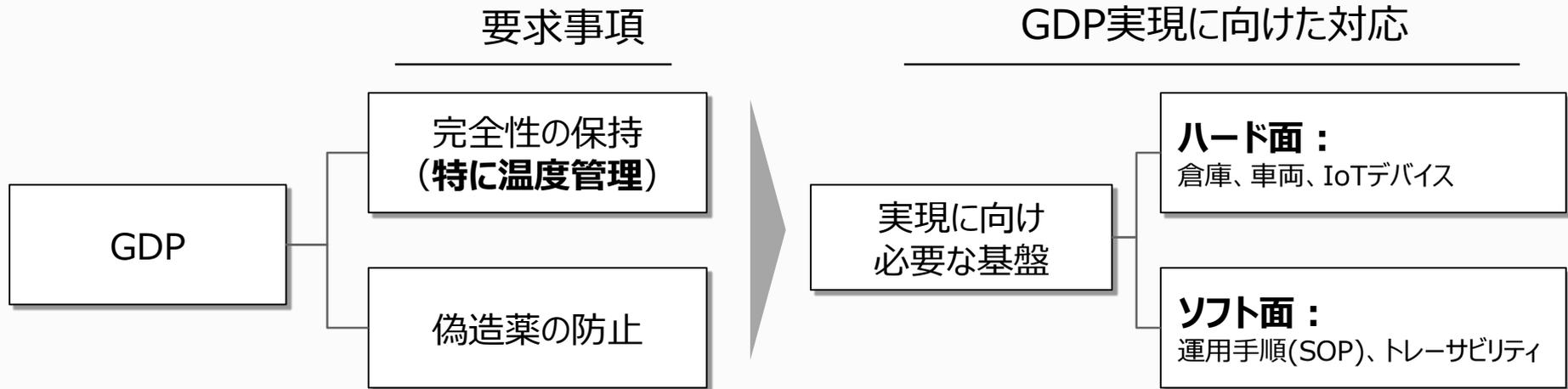
モーダルシフト・共同配送



災害物流

医薬品事業：課題(GDP)

GDPの要求事項と必要基盤



GDP(Good Distribution Practices)とは

- ・ 流通過程における**医薬品の品質保証の基準**
- ・ 医薬品の品質を確保し、安全に患者さんのお手元にお届けし、安心して使用していただくための**基本的な指針**

これまで医薬品製造において要求されてきた品質保証の水準が、医薬品の流通過程での保管や輸送のプロセスまで拡大したとみなすことができる。

医薬品事業：当社のソリューション

プラットフォーム構築 の考え方

産業共通課題 への対応

→GDP規制強化を機会とした
ビジネスモデルの刷新



イノベーションによる 新たな価値創造

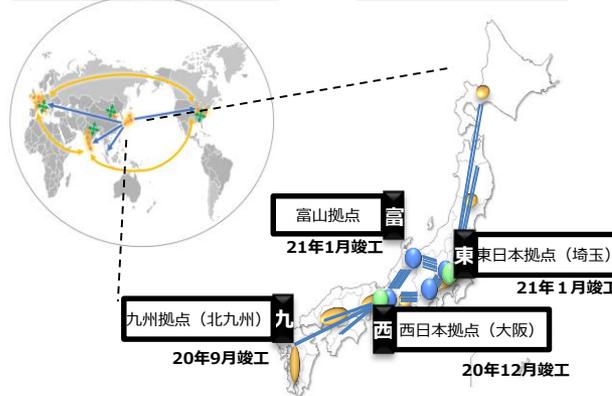
→デジタルを活用した
新たなサービスを提供

医薬品物流プラットフォーム - NEX Pharma -

ハード面

GDPに準拠した物流サービスを提供

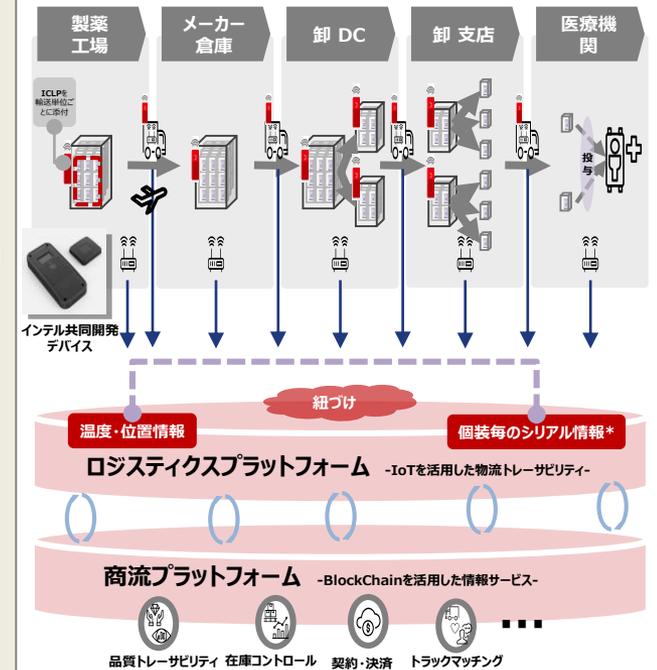
フォワーディングネットワーク 国内物流ネットワーク



実物流としてサプライネットワークを構築
 （医薬品に関するGDPに則った調達物流から一貫したSCMを提供）

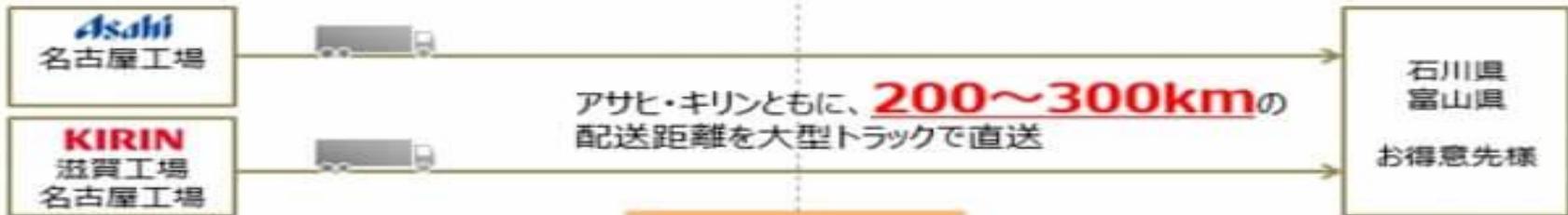
ソフト面

デジタルを活用した情報サービスを提供



モーダルシフト・共同配送

◀現在の物流体制▶



◀新たな物流体制▶

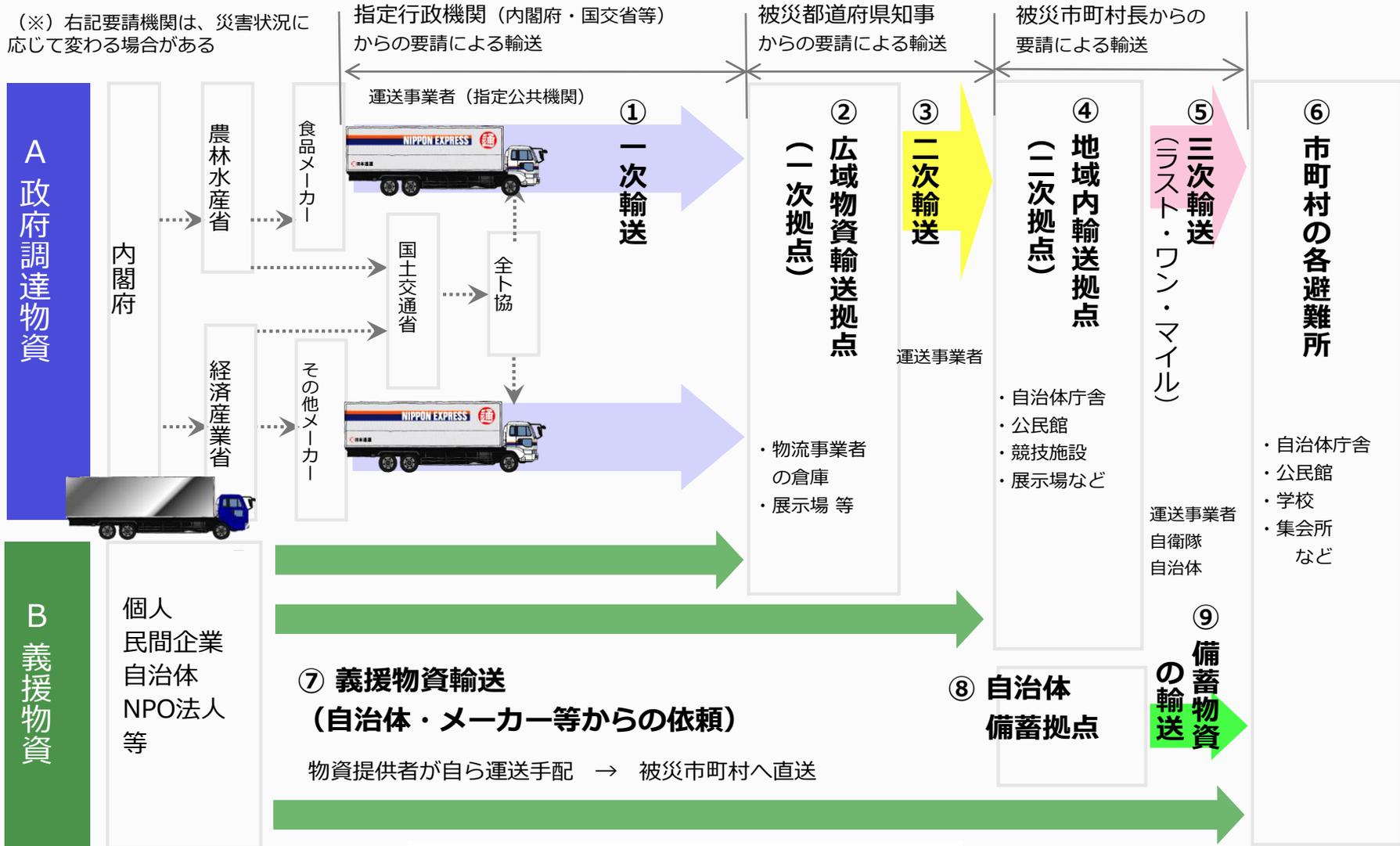
アサヒ・麒麟の主な供給工場を関西エリアへ変更し、配送センター開設及び鉄道コンテナによる在庫補充によって、**安定的な物流体制構築と環境負荷低減を両立**する。



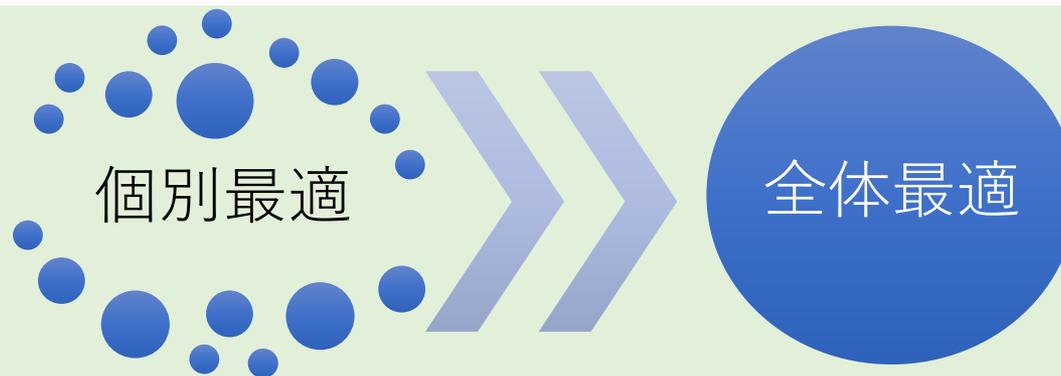
Asahi KIRIN 日本通運 JR貨物

災害物流

(※) 右記要請機関は、災害状況に応じて変わる場合がある



今後の物流について



イノベーションと持続的成長

パートナーシップ

プラットフォーム

トータル
ソリューション

企業の枠を超えて、全体最適を追求する

■人口減少 / 高齢化

■ EC物流市場拡大 / 小口多頻度化

人手不足

トラックドライバー需給予測
2028年度:27万8,072人不足
(参照:鉄道貨物協会「本部委員会報告書」)

人材の確保

標準化

女性

外国人
労働者

高齢者

先端
技術

ドローン

自動運転

DX

共同化

隊列走行

無人走行

AGF/
AGV